

福井銀行における 認知症バリアフリーの 取組みについて

株式会社福井銀行

1. はじめに
2. これまでの主な取組み
3. 認知症バリアフリー宣言について
4. 地域ネットワークの一員として
5. 継続して取り組むことの大切さ

1. はじめに

● わたしたち福井銀行の地元「福井県」について



2024年3月北陸新幹線福井・敦賀延伸

福井駅では恐竜のオブジェクトが
来県されるみなさまを
お出迎えしています。



冬の味覚の王者「越前がに」

11月6日に解禁された
ブランド蟹「越前がに」は、
多くの県民・観光客が
舌鼓を打っています。



地域の人々とのつながり

人口は約73万人と少ないが、
3世代同居率と認知症サポーター数の
総人口に占める割合がともに全国2位で
住民同士が顔の見える関係。

1. はじめに

「全47都道府県幸福度ランキング2024年度版」(一般財団法人日本総合研究所)において、福井県が12年連続となる総合1位となりました。

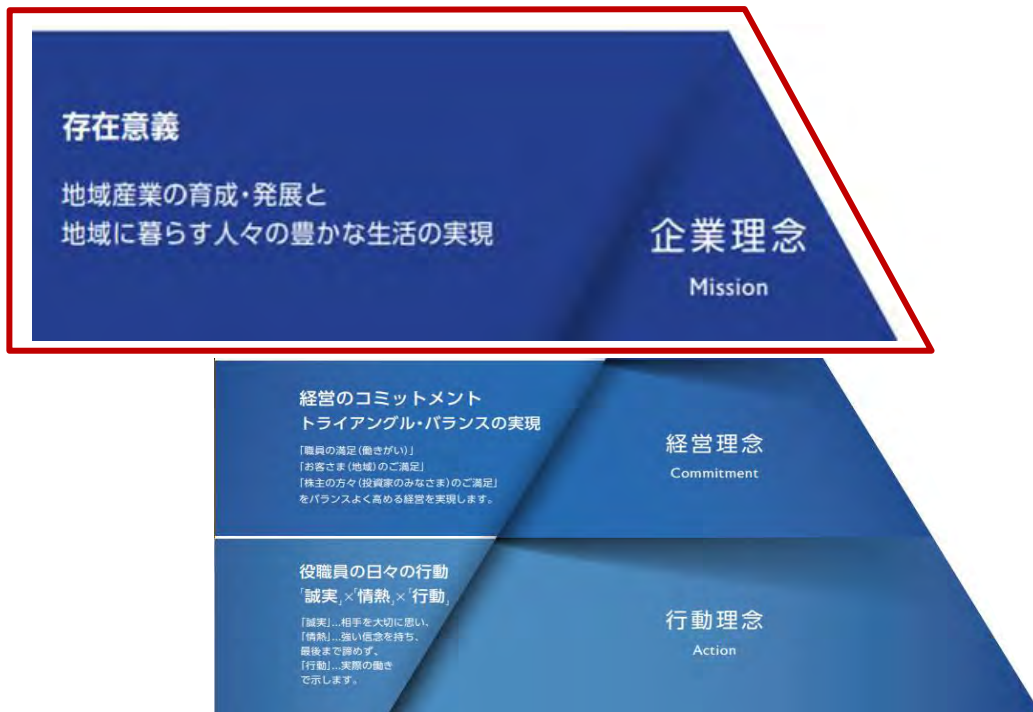
分野別では、「教育」「仕事」「生活」が充実、子ども・子育て、経済的豊かさ指標でも上位にランクインしています。

85の統計指標の総合評価で12年連続の幸福度日本一

										順位	2024年版 (85指標)
順位	2014年版 (60指標)	順位	2016年版 (65指標)	順位	2018年版 (70指標)	順位	2020年版 (75指標)	順位	2022年版 (80指標)		
1位	福井県	1位	福井県	1位	福井県	1位	福井県	1位	福井県	1位	福井県
2位	東京都	2位	東京都	2位	東京都	2位	富山県	2位	石川県	2位	東京都
3位	長野県	3位	富山県	3位	長野県	3位	東京都	3位	東京都	3位	富山県

1. はじめに

● 福井銀行が認知症バリアフリーに取り組む理由



福井銀行の理念体系

福井銀行は「地域産業の育成・発展と地域に暮らす人々の豊かな生活の実現」を企業理念に掲げています。

この企業理念を実現すべく、全職員がお客さまとの間で信頼関係を築いていくことが重要と考えております。

そのためにも、地域共生社会の一員として、認知症に対する理解を深め、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献すべく認知症バリアフリーに取り組んでいます。

2. これまでの主な取り組み

年	事 項
1965年	・ 18歳以上の知的障がいのある人たちの支援施設の設立準備委員会を発足（福井県内初の施設、以降も役職員の派遣など人的支援を継続）
2007年～	・ 認知症サポーター養成講座の開催（福井県内の民間企業初）
2021年	・ 敦賀市・嶺南認知症疾患医療センターとの三者協定締結 ・ 「認知症の方へのサポートガイドライン」の作成 ・ 福井県内の営業店のある15市町と連携やネットワーク繋ぐ
2022年	・ 認知症バリアフリー宣言



1965年、支援施設の
設立準備委員会発足。
60年にわたって
社会福祉発展の一翼を
担ってきました。



認知症の方やそのご家
族が安心して暮らせる
地域社会づくりに貢献
すべく、認知症バリアフ
リーへの取組を宣言。

3. 認知症バリアフリー宣言について

● 宣言に至った経緯

- ・ 全国銀行協会のWEB説明会に参加
- ・ 取組方針はすでに福井銀行で取り組んでいる内容であり、職員の負担増にならないと判断
- ・ 行内協議を経て、認知症バリアフリー宣言を行った

● 認知症バリアフリー宣言の目的

- ・ 認知症バリアフリー推進に向けての方針や方向性を示し、「見える化」する
- ・ 認知症の人やその家族の方々にとって安心して店舗やサービス・商品を利用できるなどの環境を提供するとともに、取組みを推進することにより、認知症バリアフリー社会の機運を醸成する

3. 認知症バリアフリー宣言について

● 福井銀行の宣言内容

人財育成	<ul style="list-style-type: none">・ 営業店や部署単位での認知症サポーター養成講座受講、新入職員研修のカリキュラムに取り入れ・ 通信講座のラインナップに認知症対応を採用(自主学習)
地域連携	<ul style="list-style-type: none">・ 関係する地域の行政機関と連携やネットワークを繋ぎ、地域の見守りや情報連携・意見交換を実施・ 行政機関・認知症疾患医療センターと連携協定を締結し、認知症の早期発見・早期治療の啓発活動を実施
社内制度	<ul style="list-style-type: none">・ 認知症を含む家族の介護が必要な従業員が介護休暇を取得できるよう環境整備・ 職員が介護と仕事の両立ができるよう、介護休暇制度への職場理解を進める・ 職員の脳ドック検査費用を補助し、認知症疾患の早期発見・早期治療を推奨
環境整備	<ul style="list-style-type: none">・ 福井県の取組みである「福井県バリアフリー表示制度」の基準をクリアした店舗に「バリアフリー表示証」を掲示・ 認知症の方に対する理解を深め、行内サポート体制の向上を目的に「認知症の方へのサポートガイドライン」を策定

3. 認知症バリアフリー宣言について

● 人財育成

新入職員研修など、職員への認知症サポーター養成講座を開催。



▷新入職員研修での認知症サポーター養成講座(2025年5月1日福井銀行本店ビルにて)



● 地域連携

行政、地域包括支援センター、銀行職員との座談会を実施。



▷座談会のようす

3. 認知症バリアフリー宣言について

● 社内制度

コンプライアンスチェックにて看護・介護を含む休暇取得について定期的にチェックを実施し、上司と1on1ミーティングにて面談。

項目	カテゴリ	チェック項目（→「はい」「いいえ」のいずれかを選択。）
20	コミュニケーション	私の所属する部署は、企画や施策・対策を考える際は起業の段階から上司のサポートや関与すべき職員との議論が行われており、部署内で「ひとりにしない、ひとりにさせない、ひとりにならない」ように体制が整っています。
21	休暇・勤怠	私が所属する部署は、自己の為の休暇や育児・介護等の家族の為の休暇など休暇目的に関わらず、周囲の理解が得られており、休暇取得が出来なかったり、休暇取得することを悩むことはありません。また、出退勤の管理はしっかりと決められたルールが守られています。



▷コンプライアンスチェック(2025年8月実施)

● 環境整備

福井県嶺南認知症疾患医療センター玉井センター長監修のもと、銀行での様子における「気づきのポイント」をガイドラインにまとめる。



【実例】

- 通帳やキャッシュカードを何度も無くしてしまう
- 現金を受け取っていないとのことのお申し出
- タッチパネルの操作方法を忘れる
- 現金・通帳・カードを受け取り(置き)忘れる

- ゆっくり話す、急かせない
- 同じ目線で、目を見て話す
- うなづきやあいづちをうつ、否定しない
- プライドを傷つけない

▷認知症の方へのサポートガイドライン(2021年6月作成)

4. 地域ネットワークの一員として



地域包括支援センターの広報活動
(営業店にて)



オレンジハート運動への協力



第7回福井認知症フォーラムでの発表
(2025年10月18日自治会館にて)



認知症と家族の会への参加



5. 継続して取り組むことの大切さ

金融機関で働くわたしたちは専門家ではありません。

ただ、わたしたちが感じた小さな異変を家族や地域・専門家と共有することで、認知症の早期発見・早期治療につながる可能性があります。

認知症の人のできることを支え、できないことはサポートする姿勢で、地域をまるごと支援していきたい。

行政や専門家との連携を更に強化し、認知症の方とそのご家族の方の声に耳を傾け取り組んでいくことが、わたしたち地域金融機関に勤める職員の務めと考えています。